



福島南ロータリークラブ

基本方針:ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を

事務局/〒960-8151 福島市太平寺字通吹 6-2 ザ・36・メイファイブ 1F2号室
tel. 024-546-3793 fax. 024-545-7878
例会場/サンパレス福島 〒960-8101 福島市上町 4-30
tel. 024-523-3811(代) fax. 024-523-0375



- 会長 : 大野順道 ■幹事 : 金子親房
- 会報委員長 : 丹治洋子 ■副委員長 : 佐藤朋也
- 委員 : 中央清和 菅野良二 吉田仁一 渡辺勇

第20回例会

平成 25 年 11 月 30 日 (土) コラッセふくしま

■会員/73名 ■出席/39名 ■出席率/53.42% ■メイクアップ/34名 ■修正/73名 ■修正率/100%

本日のプログラム

- 1 開会点鐘
- 2 ロータリーソング 奉仕の理想
- 3 四つのテスト
- 4 来訪者紹介と会長挨拶
- 5 幹事報告
- 6 各委員会報告
- 7 閉会点鐘

RI 第 2530 地区 2013 - 2014 年度東北第 1 分区新世代会議

未来の子どもたちの輝く笑顔のために

私が、未来のため今出来る事、夢を実現するために

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1、開会点鐘 | 9、基調講演「薬物乱用の恐ろしさ」 |
| 2、国歌斉唱 | 10、グループディスカッション |
| 3、ロータリーソング | 11、意見発表 |
| 4、四つのテスト | 12、新世代へ贈る言葉 |
| 5、開会あいさつ | 13、講評 |
| 6、ホストクラブ会長あいさつ | 14、御礼閉会あいさつ |
| 7、ガバナー補佐あいさつ | 15、閉会点鐘 |
| 8、来賓並びに参加クラブ紹介 | |

◆会長あいさつ◆

大野 順道 会長



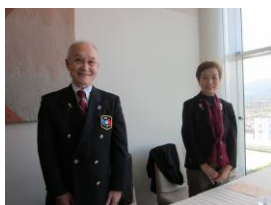
みなさん、こんにちは。本日、福島で会議が行われるということで、その前に渡邊公平ガバナー、令夫人裕子様、鈴木修一郎地区幹事が例会にお立ち寄り下さいました。感謝申し上げます。後ほどお話を頂きます。

「窮鳥(きゆうちょう)懐(ふところ)に入(い)れば獅(し)も殺(ころ)さず」追いつめられて逃げ場を失った者が救いを求めてくれば見殺しにはできないという、たとえがございませぬ。また、「測(そく)隠(いん)の情(じやう)他人(たにん)のことをいたましく思(おも)って同(どう)情(じやう)する心(こゝろ)という言葉(ことば)があります。

11月20日の例会で、バンダハウス「病(びやう)気(き)と闘(たたか)う子どもとその家族(かぞ)のサポ(さ)ーとハウ(はう)ス」の方が、24日のことなので、日にちがなく何とかこの例会で紹介(しょう)して頂(たま)きたいと、当日(とうじ)来(き)られました。私(わたくし)は「窮(きゆう)鳥(たう)懐(わい)に入る(い)る」の思(おも)いになり紹(しょう)介(かい)致(いた)しました。御(ご)協(きやう)力を頂(たま)きました会(かい)員(いん)の皆(みな)さん(さん)に感(かん)謝(しゃ)申(まう)し上(あ)げま(ま)す。

しかしながら、例会(れいご)へ(へ)の(の)ロー(ら)ーと(と)ア(ア)ン(ン)以(い)外(がい)の方(かた)の(の)入(い)場(じやう)や寄(よ)付(け)行(ぎやう)為(ゐ)につ(につ)いては、前(ま)も(も)つ(つ)て理(り)事(じ)会(かい)で承(しょう)認(にん)して頂(たま)くこと(こと)にな(な)って(て)い(い)ま(ま)す。この点(てん)につ(につ)いてお詫(わ)び致(いた)し(し)ま(ま)す。「地(ち)獄(ごく)へ(へ)の(の)道(みち)は善(ぜん)意(い)で舗(ほ)装(さう)さ(さ)れて(て)い(い)る」とは、東(とう)京(きやう)裁(さい)判(ぱん)で被(ひ)告(ご)人(にん)側(がわ)の特(とく)別(べつ)弁(べん)護(ご)人(にん)とな(な)った高(たか)柳(やなぎ)賢(けん)三(さん)東(とう)京(きやう)帝(てい)国(こく)大(だ)学(がく)

教授(きやうじゆ)が冒(ぼう)頭(とう)陳(ちん)述(じゆ)と(と)して提(てい)出(しゆ)した文(ぶん)書(しよ)のな(な)か(か)で引(ひ)用(よう)した文(ぶん)で(で)す(す)が、良(りやう)か(か)れ(れ)と(と)思(おも)つ(つ)て行(い)つ(つ)て(て)き(き)た(た)こ(こ)と(と)が悲(ひ)劇(げき)的(てき)な結(けつ)果(くわ)を招(まね)いて(いて)し(し)ま(ま)う(う)こ(こ)と(と)で(で)す。例(れい)会(かい)が悲(ひ)劇(げき)的(てき)にな(な)ら(ら)ない(ない)よ(よ)う(う)今(いま)後(ご)、注(ちゆ)意(い)し(し)たい(たい)と(と)思(おも)い(い)ま(ま)す。本(ほん)日(じつ)はRI第(だい)2530地区(ちく)第(だい)一(いつ)分(ぶん)区(く)主(しゆ)催(かい)の(の)新(しん)世(せい)代(だい)会(かい)議(ぎ)で(で)す。少(せう)し(し)で(で)も打(うち)合(あ)わ(わ)せ(せ)が(が)で(で)き(き)る(る)よ(よ)う(う)に食(じき)事(じ)の時(とき)間(かん)を長(なが)く(く)と(と)り(り)ま(ま)し(し)た(た)。そ(そ)れ(れ)で(で)は、本(ほん)日(じつ)一(いつ)日(じつ)宜(よろ)しくお願(ごん)い(い)致(いた)し(し)ま(ま)す。



◆幹事報告◆

- 12月4日(にち)会(かい)員(いん)ス(スピー)チ(チ)、「ロー(ら)ーと(と)リ(リ)ー(ー)の(の)友(とも)」読(よ)みど(ど)こ(こ)ろ、誕(たん)生(せい)祝(い)ひ
- 12月11日(にち)ク(クラブ)ラ(ラ)ブ(ブ)年(ねん)次(じ)総(そう)会(かい)・理(り)事(じ)発(はつ)表(ひょう)第(だい)7(しち)回(かい)理(り)事(じ)会(かい)、I A C例(れい)会(かい)(16:45~)

—新世代会議—

◆開会あいさつ◆



福島南 RC 実行委員会委員長 佐久間 功

6ヶ月前から準備して今日の日を迎えました。

◆会長あいさつ◆

福島南 RC 会長 大野 順道



皆さんこんにちは。福島南ロータリークラブ会長の大野順道です。本日、安藤元二 RI 第 2530 地区新世代奉仕委員会委員長始め、ご来賓の方々の御臨席を賜り、基調講演を快くお引き受け

下さいました佐藤喜一郎様をお迎えし、国際ロータリー 2530 地区東北第一分区の新世代会議を開催することが出来ます事に、心より御礼申し上げます。また東北第 1 分区各ロータリークラブや各会社、高校の先生方のご協力により 28 名の新世代が参加する事ができ、ロータリーと共にここに集う事が出来ました事に感謝申し上げます。

現在、東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所の事故から 2 年 9 カ月が経とうとしていますが、未だに先が見えないところがあります。先が見えない、どうしていいか分からない時、危ないことが待ち受けていることが多いものです。その一つとして、薬物の乱用があります。皆さんには、関係ないことかも知れませんが、その危険性を知っておくことは、大切なことだと思います。そのことについて福島県更生保護協会副会長である佐藤喜一郎様がお話下さいます。どうぞ宜しくお願い致します。

新世代会議の目的の一つに、「立派な地域社会をつくるのは、みんなの責任であるという自覚を持つこと」とあります。今日は、それぞれの夢を実現するために、今できる事をロータリーと共にディスカッションし、発表していただきます。そしてロータリーから新世代に送る言葉がございませぬ。このことが、「立派な地域社会をつくるのは、みんなの責任である」という自覚を持つことになると思(おも)い(い)ま(ま)す。

私は福島が名実ともに福の島、ハッピーアイランドとなりますよう願(ねが)っています。この新世代会議が行われ、皆さんが参加していること、こうして集(あ)う(う)こ(こ)と(と)が、既(すで)にハッピーアイランドの入口(いりぐち)だ(だ)と(と)思(おも)い(い)ま(ま)す。皆(みな)様(さま)にとり(と)り(り)ま(ま)し(し)て、実(じつ)りある新世代会議でありますよう祈(いの)念(ねん)致(いた)し(し)ま(ま)す。

何かと不(ふ)行(ぎやう)き(き)届(とど)き(き)の(の)点(てん)が(が)あ(あ)る(る)と(と)存(ぞん)じ(じ)ま(ま)す(す)が、ロータリーの精神と寛容な心でお許し頂ければ幸いです。

最後(さいご)にな(な)り(り)ま(ま)す(す)が、ご指(さし)導(どう)頂(たま)き(き)ま(ま)した野(の)地(ぢ)利(り)雄(ゆう)北(きた)第(だい)一(いつ)分(ぶん)区(く)ガ(ガ)バ(バ)ナー(ナー)補(ほ)佐(さ)、黒(くろ)羽(う)好(こう)夫(ふ)幹(かん)事(じ)、この新世代会議にご尽力されました佐久間功実行委員長はじめ、実行委員の皆様(みな)に感謝を申し上げ、ご挨拶と致します。

◆ガバナー補佐あいさつ◆

ガバナー補佐 野地 利雄



皆さんこんにちは。本日 11 月の最後の土曜日ですが、大勢のロータリーそして新世代の方々にご参集頂き、また地区の新世代委員長始め地区委員の方にご臨席頂き、渡邊ガバナーの「未来の子ども達の輝く笑顔のために」のテーマについて、新世代の方々と会議が出来ます事に大変感謝致します。この新世代会議につきましては、

東北第 1 分区主催、ホストクラブは福島南 RC さんの担当となっております。東日本大震災の後、いろいろと社会的不安要素が重なってきております。私たちロータリーにロータリー青少年奉仕プロジェクトの中に「青少年の保護」という活動があります。ロータリー・インターアクト、青少年交換留学生そして、青少年の方々の心身を守り、安全に最善を尽くす責任があるといわれており、1 つでも 2 つでも社会的不安要素排除をしていかなければなりません。今回飯坂ロータリー・パト会長の佐藤氏をお招きし、現況等を後援して頂くことになりました。

「健全な身体に健全な精神が宿る」と言われております。また、ロータリーのこの「新世代」ということが、元 RI 会長のルイス・ビンセント・ジアイさんが初めて使ったそうです。「新世代」とはロータリー家族のもっとも若い世代の人々を指し、青少年や若者を対象としてロータリープログラムの参加者です。そして、「成功と失敗を分つ要素は、未来を築き始めよう」とカルガリーで行われた国際大会で述べましたが、今日私達の新世代会議の内容が実のあるものになり、このプログラムが青少年の今後の活動が世界、日本・地区中で貢献を果たし、私達と深い関係を築き、将来の素晴らしい投資となる事を祈念するものであります。今日の会議に大変ご協力を頂き、また福島南 RC の皆さんそしてご参加の方々の今後のご活躍をご期待申し上げ、御礼のご挨拶と致します。

◆基調講演「薬物乱用の恐ろしさ」◆

飯坂 RC パト会長 佐藤 喜市郎



福島県は薬物乱用東北 6 県でワースト 1。薬物は身体をダメにする魔物です。絶対に薬物に手を出さない。また薬物に手を出そうとした人を救っていきましょう。

◆新世代へ贈る言葉◆

福島 RC 新世代奉仕委員長 森岡 幸江

自分の人生、これから先、全力を尽くして欲しい。気になったことに取り組んで欲しい。人との係わり合いを大切に。出(い)会(かい)い(い)を(を)大(だい)切(せつ)に(に)。

福島中央 RC 新世代奉仕委員長 芳賀 裕松井秀樹選手を通し、一途の力を大切に。

福島南 RC 会長エレクト 高橋 勇雄 3. 11 を乗り越えた 28 名の有志にこれからの福島を任せませぬ。共に頑張りませぬ。

◆講評◆

2530 地区新世代奉仕委員長 安藤 元二



本日参加下さり意見発表された、新世代の勇気ある皆様方の将来にエールを送りたいと思(おも)い(い)ま(ま)す。

担当 丹治でした。